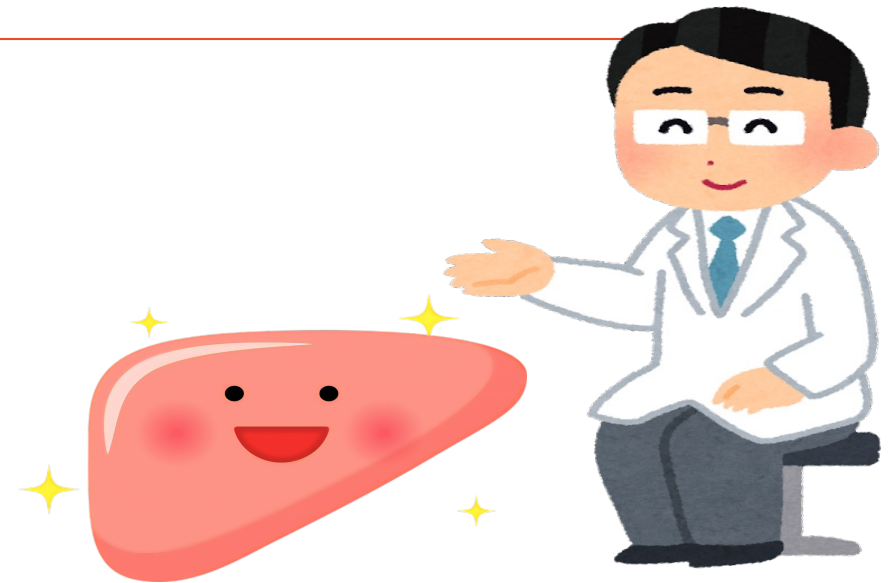


知っておきたい肝炎の知識

令和4年10月度
安全衛生委員会資料
産業医 西川菜摘



肝炎ってどんな病気？

肝炎は肝臓の細胞が壊れたり、その働きが損なわれる病気です。そして、肝臓は人体で最も大きな臓器であり、栄養の貯蔵や有害物質の解毒・分解・消化にに使う胆汁の合成や分泌を担っています。

肝炎は原因により、ウイルス性、薬物性、アルコール性、自己免疫性などに分類され、ウイルス性はA型、B型、C型、D型、E型などがあります。

そしてウイルス性の肝炎は、妊娠によって子どもが感染する母子感染や輸血や性交渉などによる感染が知られています。



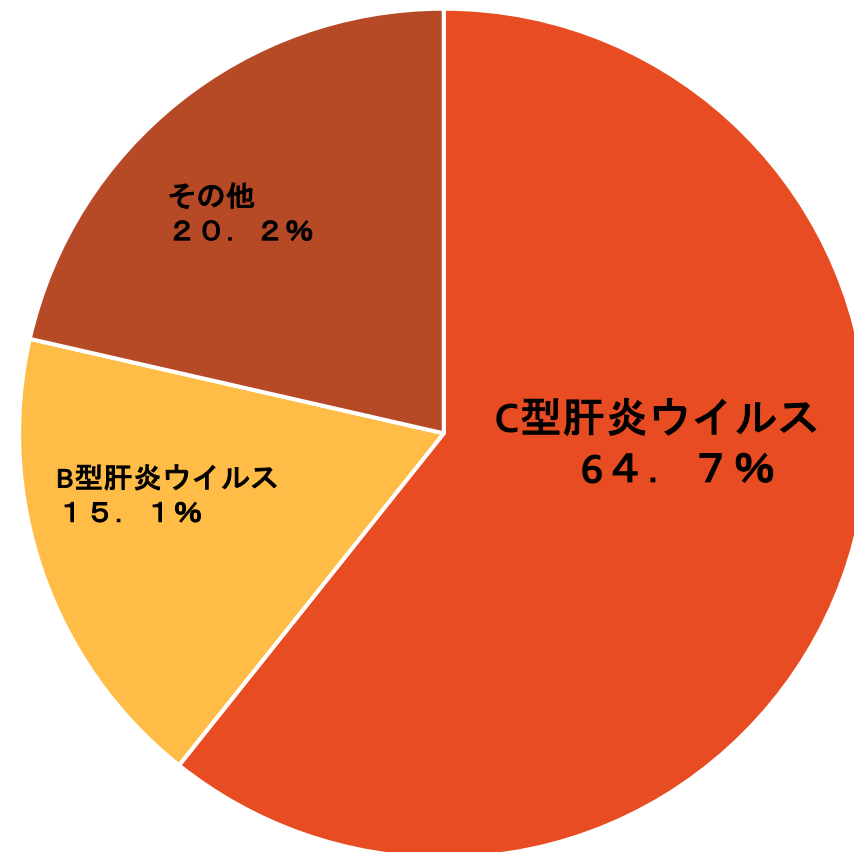
ウイルス感染で肝炎になるの？

ウイルス性肝炎は、臨床経過によって「急性肝炎」「急性肝不全」「慢性肝炎」の3つに分類されます。この「慢性肝炎」は自覚症状のないままに病気が進行し、肝硬変や肝がんに移行する危険性があります。

しかも性交渉などによって感染を広げてしまう危険性もあるのです。

右の円グラフは、少し古い統計ですが肝がんの原因を示したものです。肝がんと聞くとお酒の飲みすぎといった印象があるかもしれませんが、実は慢性肝炎の原因であるB型、C型肝炎ウイルスによるものが、かなりの割合を占めています。

つまり自覚症状がほとんどない慢性肝炎のうちに発見、治療できれば、肝がんを防げたかもしれないのです。



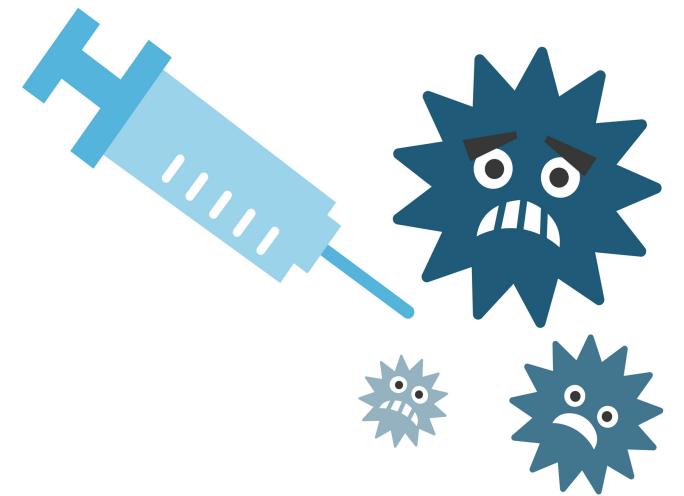
肝炎の治療

肝炎に対する治療も研究が進んでおり、慢性肝炎は早期に適切な治療を行えば、治癒したり肝硬変や肝がんになるのを防

げます。代表的な治療の一つが抗ウイルス薬です。

肝炎ウイルスを排除したり、増えるのを抑えたりすることで肝がんが発生するリスクを抑えることができます。

また肝細胞が壊れるのを抑える薬なども開発されており、肝がんの発生を先延ばしにすることができます。



まずは検査を！

人によっては定期検診を受けているから、大丈夫だと思ってしまうかもしれません。しかし通常の健康診断は肝機能検査だけが行われていることがほとんどなのです。まだ病気を発症していないキャリアの状態にある人を見つけるためには、肝炎ウイルス検査をする必要があります。検査は1回の採血で済み、原則、初回は無料となっているので、労力的にも金銭的にも負担なく検査することができます。

簡単！
肝炎検査は
一生に
1回でOK

